

学校教育目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、正しく判断できる人 ・心温かく、思いやりのある人 ・健康でたくましい人 	<ul style="list-style-type: none"> ・力をあわせ、実践する人 ・苦難に耐えてやりぬく人

学力向上に関わる学校経営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着を目指し、授業の充実を図り、生徒が安心して学べ、活躍できる学校をつくる。 ・教師は授業前に教室に行くよう心がけ、生徒の2分前行動を促す。 ・生徒同士の情報交換や相互啓発によって、思考力やものの見方を広げ、問題解決能力を高める。 ・9年間を見通したカリキュラムをもとに指導のあり方・連携を進め、小中連携教育を推進する。

本校が目指す「確かな学力」
<p>学習指導要領に示されている基礎学力の習得を重視し、次の力を身に付けさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的知識・理解の定着を図る。 ・知識・理解を活用する場面を多くつくる。 ・知識・理解を活用する意欲を喚起させる。 ・課題解決に向けた探究的な活動と主体的学習態度を身に付けさせる。 ・確かな学力の保証につながる課題発見能力と解決能力を身に付けさせるために必要な思考力、判断力、表現力、学ぶ意欲、学び方を習得させる。

教科指導の重点	生活指導の重点	進路指導の重点	特別活動の指導の重点
<ul style="list-style-type: none"> ・意欲を高める指導法の工夫やICTの活用、個に応じた指導を充実させ、指導と評価の一体化を図り、確かな学力を身に付けさせる。 ・生徒が「わかった」「できた」「やりとげた」と実感できる授業を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の生徒理解を深め、信頼関係を基礎に基本的生活習慣の定着を図る。 ・社会の一員として自覚を高め、望ましい自己実現を図る能力と節度ある態度を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の一環としてとらえ、生徒の発達段階に即した進路指導を行い、将来の職業に対する理解と関心を深めさせ、一人一人の生きる力を育て、自ら進路を選択する能力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の全体を通して人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。 ・自己の役割を遂行し、課題を解決することにより、学校生活の向上に努めさせる。

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・方法	教育課程編成	校内研修・研究	評価活動	家庭や地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習状況や生活状況の日常の様子を把握し、教員間で情報交換を行う。 ・放課後学習教室等により、学習の充実を図る。 ・既習の知識を活用する場を設定し、新たな課題解決に努めさせる。 ・生徒の興味・関心を高め、一人1台端末を活用し、視覚的に分かる授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学では習熟度別少人数クラスによる指導を実施する。 ・図書館指導員の支援による図書指導の推進を実施する。 ・朝学習等でAI教材を用いて、基礎基本のくり返し学習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決するための探究心を深め、主体的かつ協働的に学びを進めることができる力をテーマとして校内研修を行う。 ・ユニバーサルデザインを取り入れた環境整備についての研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の年間指導計画を学校HPに掲載し、保護者への周知を図る。 ・全教科担当が年度当初に観点別評価方法等を生徒に説明を行う。 ・生徒や保護者、学校運営協議会委員等からの授業評価を実施する。また、生徒から学期ごとに年3回の授業評価を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会、学年だより等による学習状況や評価の観点等を周知する。 ・三者面談を年2回実施し家庭と情報を共有し、生活や学習における課題の改善を図る。